

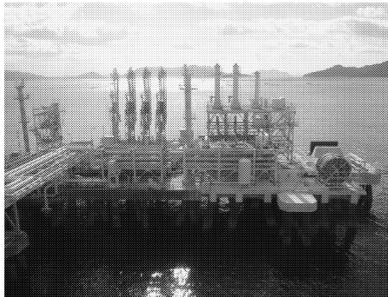
広島ガス

長期的な安定供給に向けたインフラ整備

東日本大震災以降、日本のエネルギー状況は変化し、さらなる省エネルギーの徹底や分散型エネルギーシステムの普及促進に伴い、天然ガスへの期待はますます高まっている。そのような状況の中、広島ガスは天然ガスの安定供給および普及拡大を目的に計画的なインフラ整備を進めている。

2012年11月に廿日市工場の稼働機能拡大工事を着工。15年末の完成後はこれまでの小型LNG船(2万立方尺級)に加え、標準LNG船(17万立方尺級)の受け入れが可能となる。これにより原料調達先の選択幅が広がり、原料の安定的な調達につながる。

また、広島南道沿いの工業団地での事業計画と合わせながら、準備を進めてきた広島湾岸幹線新設工事も昨年2月に着工し、総延長約2.5km、幅員約46mの約46%が順調に進捗しているところだ(14年3月現在)。16年度末に完成予定のこの幹線は、同社初となる設計圧力7MPaの高圧幹線(口径400φ)であり、天然ガスの輸送能力が向上し、将来の需要増大に備えることが可能となる。



供給力増加の動き 中小企業にも

日本企業の設備投資意欲が高まってきた。大手企業のみならず、出遅れていた中小企業にも、活気が始まっている。特に国内では生産する大手への部品供給などで、新規取引も目立った。供給力増強の動きが広がっている。また老朽化した設備の更新を機に、その先を考えた思いついた投資を行うところもある。広島県においても同様で、最近では海外ばかりでなく、国内への投資も目立ち始めている。これらの投資は、企業の今後の見通しに対して前向きな経営判断の表れだ。この1年の日刊工業新聞に掲載した広島県企業の設備投資関連記事を追ってみたい。

この1年の設備投資、増産計画

広島県内企業 この1年の主な設備投資動向 (日刊工業新聞掲載)

会社名	投資内容	投資金額
イワタ木工	広島県の佐伯工業団地に化粧筆の本格的な新工場	約1億4,000万円
協同精機	塗装前処理工程の新工場棟が稼働	1億2,000万円
山陽マシ	福山市内の生産工場拡張 歯車面取り盤やフローチ盤増産	約1億3,000万円
サンヨー工業	広島県の三次工業団地に新工場完成	約2億7,000万円
三和ドック	本社に修繕船用大型ドックを新設	約70億円
JMS	フィリピン・パタンガス州に医療機器の新工場 出張工場も増産	約80億円
シギヤ精機製作所	本社内に大型円筒研削盤増産の新工場棟	約10億円
新中央工業	広島県東広島市のバリ取り加工の新工場稼働	約1億5,000万円
中外テクノス	ベトナムに子会社 石炭火力発電所の排ガス分析	2,000万円(資本金)
南条装備工業	メキシコの自動車内装部品工場の生産設備増強	約1億円
白鳳堂	広島県の三次工業団地に化粧筆の新工場	約3億5,000万円
ピーテック	タイに進出 生産設備と建築設備の一括請負	約1,870万円(資本金)
広島ガス	廿日市工場の稼働機能の拡大や幹線導管網の整備	約97億円
広島テクノプラザ	電波暗室の第3EMC棟を新設 15年3月完成予定	約2億円
双葉工業	広島市安佐北区内に自動車部品組み立ての新工場完成	約10億円
ミカサ	新本社と工場が稼働 ポールや工業用製品など生産	約20億円
レニアス	栃木県小山市に新工場 車両メーカー向けの窓や窓枠組み立て	約10億円

マツダ

海外投資で生産能力拡大

マツダが海外での設備投資を進めている。1月にはメキシコで車両生産能力が年間14万台完成車工場が稼働、小型車「アクセラ」の現地生産を始めた。10月にはエンジンの機械加工工場が稼働する予定で、さらには2016年3月期には車両生産能力を同23万台まで拡大する。

一方で気になるところが、国内事業を今後どうするか。新世代技術「スカイアクティブ」の関連投資や、新型車の投資など、一定の規模は維持するものと見られる。しかし、広島や山口の地場部品メーカー、設備メーカーにとっては目が離せないテーマとなる。



ミカサ

全面移転の本社・本社工場完成

ミカサ(広島市安佐北区内、佐伯武後社長、082・810・3910)は、2014年1月に建設中の本社・本社工場が完成、広島市西区から全面移転した。工場の老朽化の対応や、工業用製品の生産性向上が狙い。約20億円をかけた、事務所棟と3工場棟延べ約8900平方メートルを建設した。ポール、工業用製品の技術の深堀を進めながら、第3の柱の開発に取り組み方針。

新本社・本社工場は敷地約2万平方メートル。事務所棟は鉄骨造り2階建て延べ約1200平方メートル、工業用製品棟は鉄骨造り平屋建て約2900平方メートル、工場棟は鉄骨造り約1900平方メートル。工場建設は約1年かけて生産効率



ボール研究棟は鉄骨2階建て延べ約2800平方メートル。船舶用ゴム軸受などの工業用製品は、伸びず分野と位置付け、旧工場の約2倍の広さを確保。ボール研究棟では、生産をタイなど海外に移しており、研究開発を中心に、新本社・本社工場は広島市の郊外に移転して「社員への通勤がしやすくなった。しかし、工場建設は約1年かけて生産効率

レニアス

受注拡大にらんだ投資

栃木県小山市の工業団地内に新工場を建設中のレニアス(広島県三原市、前田社長、0848・86・1137)。新工場では、本社工場で製造したポリカーボネート(PC)樹脂製パネルを使った窓や窓枠を組み立てる。総投資額は約10億円。12月の完成、2015年春の稼働に向け、工事が進んでいる。

レニアスは広島県内での設備投資にも積極的で、13年には20億円を投じて本社工場を増強し、PC樹脂製パネルの年間生産能力を30万枚に引き上げた。PC樹脂製パネルは建物の運転席のルーフトップやゴルフカートのルーフトップなどに採用され、8・9割のシェアを持つ。軽量化と強度のあるPC樹脂製パネルは多くの業界が注目しており、用途拡大が期待される。



マツダ関連

部品メーカー、共同で海外進出を加速

マツダの海外展開を受け、関連する地場部品メーカーなど取引先の間にも、海外進出する動きが目立つ。興味深いのがメキシコの例。マツダは工場の隣接地に、部品工場を誘致するためのサプライヤーセンターを設置。ここに、国内では競合関係にあるメーカー同士が手を組んで進出した。シートメーカのデルタ工業(広島県府中町)と東洋シード(広島市海田町)による合弁会社「フアンキート」と、プレス部品メーカーのワイテック(同)とキレックス(同)による「ワイテックキレックス」だ。海外進出に伴う負担を軽減する「智恵」の例として注目される。

自動変速機の工場建設が進むタイへの進出も見られる。吉岡機工(広島市中央区)、田中共栄商会(同)、藤田工業(広島市南区)の地場機械工業商社3社は、共同出資による商社をタイに設立した。マツダ本体のほか、進出が見込まれる部品メーカーに向けて、工具などの消耗品を販売する。これまで広島にあってマツダの成長を支えてきた各社、成長の舞台が海外に広がる中で、その果実を取り込むためには、共同出資のようにならざるを得ない。智恵が求められている。

白鳳堂

海外での需要増大見込む

白鳳堂(広島県熊野町、高本和男社長、082・854・1425)は、広島県三次工業団地(二期)に進出、10月から新工場の建設に取りかかる。海外を中心に需要の増大が見込まれることから、当初同団地内に取得していた土地から、約2倍の広さの土地に変更した。

計画によると、総事業費は約2億円増え、約3億5000万円(土地代含む)で、10月から鉄骨2階建て延べ約1360平方メートルの工場、事務所を着工、2015年4月に操業を始める予定。生産計画や新規雇用20人には変わりないが、操業は当初計画より、約半年遅れることになる。13年11月に三次工業団地(二期)の建物付き土地約6300平方メートルを取得することを、広島県と合意していた。しかし、同社が将来計画を検討したところ、海外での取り引きが拡大するなか、今後も化粧筆を中心とした海外の需要増が見込まれる。需要増に対応して、工場増設には約6300平方メートルは狭いと判断。同団地内(二期)の未分譲区画約1万1000平方メートルに変更した。7月に広島県と売買契約を結んだ。

ダイクレ

アジア向け生産拠点体制整備

ダイクレ(広島県呉市、山本浩社長、0823・21・1331)の台湾・台南市の新工場の建設が大幅な進捗を遂げている。2014年2月に、日系企業向け産業団地「日産産業イノベーションパーク(TJパーク)」に入居第1号として、現地法人の台湾大興はタイ、ベトナムに続いて同社3件目の海外法人となる。

新工場は、約1万5000平方メートルの敷地に5000平方メートルの工場を建設している。年内にも本格稼働の予定で、当初の売り上げ計画は年間10億円規模を目指す。台湾大興の資本金は約2億8000万円。ダイクレ100%出資子会社。新会社で生産するのは熱交換器やフィンチューブ。フィンチューブはアルミ製のフィン(羽根)を、高度技術で溶接した国内でもトップ製品。加熱、放熱効率が高く、エネルギー効率が良いため、発電や石油化学製品製造現場などでの環境、省エネ意識の高まりもあって東南アジアでも需要が伸びている。

CGK シージーケー株式会社

●工程動作以外に3種類の加工モードが選択できる
●各モードのプレス位置及び速度を任意にデジタル入力
●低騒音、低振動と人・環境に優しい商品

型式	HMS-7000	MS-3000	HMS-1000
最大荷重(kN)	70	30	10
ストローク長さ(mm)	max40	max25	max100
ストローク数(spm)	max80	max80	
ストローク速度(mm/sec)			max55
スライド調整量(mm)	40	15	
オープンハイト(mm)	自由設計	170	自由設計
ダイハイト(mm)	自由設計	145	自由設計
シャング穴	φ25.4×37L	φ25.4×35L	φ25.4×40L
運動モード	一工程・安全一工程・ソフトモーション・プログラムモーション	ソフトモーション・コインングモーション	
電源	三相 AC200V	三相 AC200V	三相 AC200V
モーター出力(ACサーボモーター)	3KW	0.75KW	0.4KW

営業サービス窓口 / 〒738-0512 広島市佐伯区湯来町白砂5-7
TEL0829-86-2061 FAX0829-86-2062
大阪 / TEL06-6536-3923 FAX06-6536-5735
http://www.cgk-corp.co.jp

レニアスは、「安全と信頼のモノづくり」を通して人と地球に優しい未来を創造します。

RENIAS 株式会社レニアス

本社 / 〒729-0473 広島県三原市沼田西町小原200-76 TEL0848-86-1137 FAX0848-86-6377
東京事務所 / 〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-2-22 千代田ビル9F TEL03-3257-1137 FAX03-5297-8363

事業内容 輸送用機器及び特殊車両の部品、セキュリティ商品の開発・製造・販売

http://www.renias.co.jp